

学生有志団体・環境問題研究会が 「東京都グリーンコンシューマー奨励賞」 を受賞！

このたび、環境に配慮した消費生活の推進に関して意欲的な取り組みを行っている都内の個人・団体・企業を表彰する「第5回東京都グリーンコンシューマー奨励賞」活動部門賞に、本学の学生有志団体「環境問題研究会」が選ばれました。

そして2006年2月24日、都民ホールで開催された「東京都グリーンコンシューマー奨励賞贈呈式」において、13の受賞者を代表して事例発表を行いました。

法学部政治学科3年 秋元佑紀

学生の視点からの環境市民活動を目指して

環境問題研究会は、現在地球規模で拡大している環境問題を多角的に学生の視点から研究する学生有志団体です。環境に先進的に取り組む大学づくりのため、日々活動しています。

■ I 東京都主催「家電で“少”エネ新生活キャンペーン」

平成16年に実施したこのキャンペーンは、省エネ家電を一般消費者に普及させ、家庭の消費電力を抑えることで地球温暖化防止に貢献することを目的としました。

消費者はどうしても店頭での販売価格が安いものに目が行きがちですが、店頭価格は割高でも電気料金が安くつくので長期的には省エネ家電が「お得」であることを『省エネラベル』を使ってアピールしました。私たちは秋葉原の電気街を中心に販売店や家電メーカーを周り、省エネラベルの表示を依頼しました。また事後調査として消費者と販売店にヒアリングを行い、効果・課題等を検証しました。そして平成17年4月には『省エネラベリング制度』が東京都で条例化されました。

■ II 白門祭におけるゴミ削減対策の試み

白門祭から排出されるゴミの量はすさまじいものです。「社会の一員として学生は自分たちの出すゴミにもっと責任を持つべきではないか」という問題意識から、私たちは「環境に配慮した白門祭」を目指してゴミ対策運動に取り組んでいます。以前の調査から、模擬店の飲食物の容器が白門祭期間中に排出される主要なゴミになっていることが判明しました。そこで昨年は使い捨て容器に替わりリサイクルトレーを導入し、廃棄物の減量を目指しました。

この平成17年度の企画『ペリペリはがしてリサイクルキャンペーン』では、リサイクル容器1万枚を導入し、12の出店団体がこれを使用しました。

また、白門祭終了後に清掃業者によって行われる一斉清掃にも参加し、朝5時からゴミの実態調査を行いました。そして企画終了後、ゴミ収集の現状を大学に報告しました。今年度はそれらの問題点と対策を提言書にまとめて、大学に提出する予定です。



左：白門祭中のゴミ箱の様子。入りきらないゴミが箱の外に溢れてしまっている。
右：白門祭終了後の早朝清掃の様子。ひとつずつ手作業でゴミ袋を開封し、分別をしている。
(環境問題研究会撮影、2005)

■Ⅲ 環境シンポジウムの開催

平成17年11月22日、日比野研究成果を発表する場として、また社会に対しての環境意識向上の働きかけの場として、中央大学多摩キャンパスで『野口健 環境シンポジウム 富士山から日本を変える～いま私たちにできること～』を開催しました。大学生を中心に200名を超える参加者があり、環境問題と市民活動への関心が社会的に高まっていることを実感しました。

私たちは定期的にゼミを開催し、環境問題を多角的に研究しています。その成果は官公庁への政策提言などで、多方面にアウトプットしています。



今後も地球環境の問題に目を向けながら“think globally, act, locally”をモットーに、「環境に配慮した大学づくり」に向けて、行政や他の市民団体、大学との協働に取り組んでいきたいと思っています。

中央大学環境問題研究会

URL http://www.geocities.jp/kankyouden_chuo/

E-mail kankyouden05@yahoo.co.jp